

ユニセフとは

ユニセフ(UNICEF:国連児童基金)は、すべての子どもが、世界のどこに生まれても健康に成長して学校で勉強し、自分の力を伸ばして生きていけるように、保健や教育などのさまざまな支援活動を行っている国連機関です。活動の範囲は、最も支援が届きにくい子どもたちを最優先に、世界の190の国と地域におよびます。

ユニセフの活動の基本になっているのは「**子どもの権利条約**」。この条約には、すべての子どもには「**生きる権利**」「**育つ権利**」「**守られる権利**」「**参加する権利**」があること、それを守るために大人達ができるべきことが書かれています。ユニセフは「すべての子どもの権利が実現される世界をめざして」活動を続けています。



© UNICEF/UN045739/AHssa 教室で学ぶ子どもたち (シリア)

ユニセフの主な活動

参考:ユニセフ手帳(2018年3月版/公益財団法人 日本ユニセフ協会 発行)

子どもの健康を守る

5歳の誕生日を迎えられずに命を失う子どもは年間540万人。その原因の多くが風邪や下痢、マラリアなどの治療・予防が可能な病気です。



© UNICEF/UN020678/Balasundaram

ユニセフの支援

予防接種の実施、経口補水液の作り方を教える、保健センターを作る など

安全な水と衛生的な環境を整える

世界には池や川の水をそのまま使わざるを得ない暮らしをしている人が1億5,000万人、トイレがなく屋外で用を足している人が8億9,200万人以上います。汚れた水を飲むことで病気にかかりやすくなり、遠くの水源地へ水汲みにいく仕事子どもたちから勉強の時間を奪っています。



© UNICEF/UN020678/Balasundaram

ユニセフの支援

井戸を作り、井戸の清潔さを保つために井戸から離れたところにトイレを作る、手洗いなどの衛生の知識を教える など

栄養を十分にとれるようにする

世界の5歳未満の子どもの4人に1人が栄養不足です。栄養が足りていないと、病気になりやすく、また治りにくくなります。



© UNICEF/UNI47168/Brioni

ユニセフの支援

ビタミン剤や治療栄養食を配る、栄養指導員を増やす、野菜や家畜の育て方を教える など

すべての子どもたちが学校へ行けるようにする

小学校に行けない子どもたちは、世界で約6,100万人。読み書きができないと収入のよい仕事に就くことができず、貧困からなかなか抜け出せません。

ユニセフの支援

学校をつくる、教科書と学用品を届ける、先生を育てる、親に教育の大切さを伝える

特に厳しい状況下にある子どもたちを守る

家族の生活を支えるために働かなくてはいけない子ども、特に危険で厳しい仕事をさせられている子どもは約7,300万人います。また、紛争に巻き込まれて兵士にさせられる子どももいます。

ユニセフの支援

仕事をしながらでも通える学校を作る、兵隊から解放された子どものリハビリセンターを作る など